

感染症分野

研究領域

「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2017年	研究期間	5年間
研究課題名	シャーガス病研究制圧のための統合的研究開発プロジェクト		
研究代表機関	群馬大学大学院保健学研究科生体情報検査科学分野		
相手国	エルサルバドル共和国	主要相手国 研究機関	教育省 エルサルバドル科学技術研究センター
研究課題の概要			
<p>中米に位置するエルサルバドルは、シャーガス病という寄生虫疾患の流行地である。本疾患は、心不全、巨大消化管等の多様な病態を示すが、その病気の成り立ちについてほとんど研究されていない。また、治療薬は2種類しかなく、有効性、副作用等の問題があり新規治療薬が強く望まれている。本研究では、次の3点について研究開発を行う。①多様な病態をおこす因子を解明するため、原虫のゲノム解析を行う。②新たに見出した治療薬候補IMDおよびGTN化合物の実用化を念頭におき、将来の臨床試験に向けて必要なデータを取得する。併せて、同国の天然資源からも候補薬を探索し薬剤開発基盤を確立する。③既存薬の工業的合成法を確立する。これらの開発を通じて、シャーガス病の制圧に貢献する。</p>			